2026 年 11 月 13 日

各　位

上場会社名　株式会社ニッチツ
代 表 者　代表取締役社長　松原　祐生
(コード: 7021　東証スタンダード市場)
問合せ先　代表取締役副社長執行役員
管理本部長　艸薙　望
（TEL. 03－5561－6200）

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2026 年 11 月 13 日開催の取締役会において、2029 年度を最終年度とする中期経営計画「ニッチツ 2.0」について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．中期経営計画策定の目的

当社を取り巻く環境変化（国内造船業の再生・建造能力の拡大、AI・半導体関連の需要拡大等）を踏まえ、前中期経営計画「シン・ニッチツ 2025」で築いた基盤を継承・発展させ、持続的な企業価値向上を図るため、中期経営計画「ニッチツ 2.0」を策定いたしました。

２．対象期間

2026 年度から 2029 年度までの４年間

３．中期経営計画「ニッチツ 2.0」の概要

（１）基本方針

事業基盤を強化し、持続的な成長へ企業価値向上の実現

（２）基本戦略

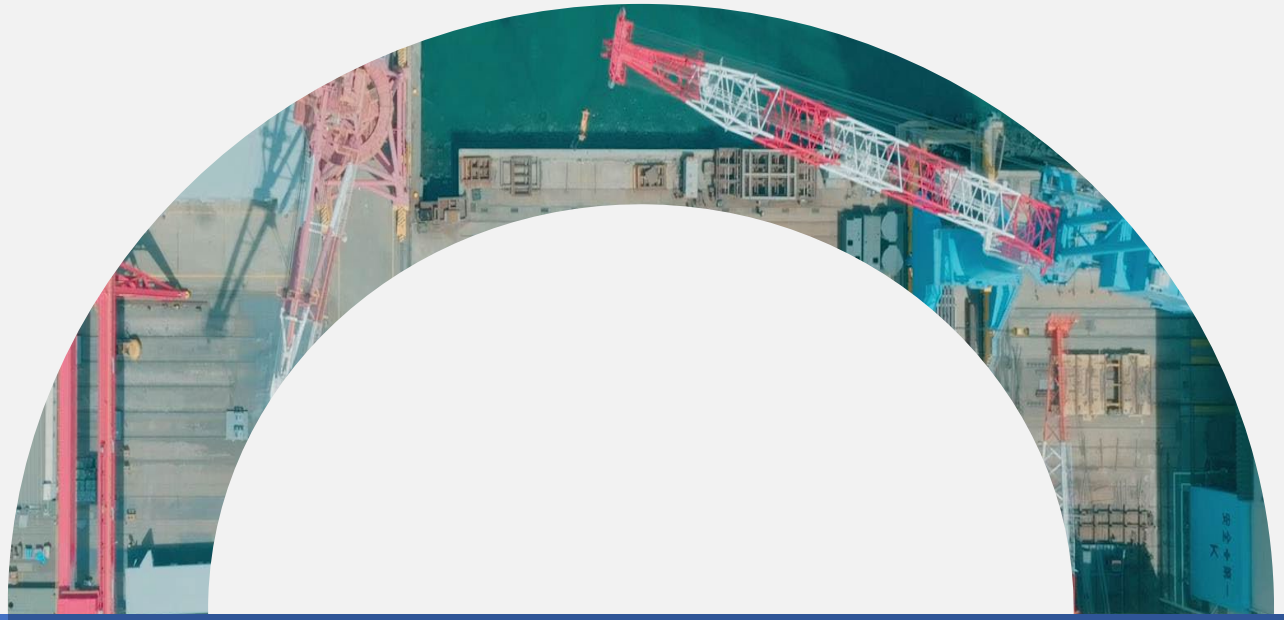
① 舶用事業の増強
② 生産性・収益性の向上
③ ビジネスの持続可能性・安全性
④ ビジネス領域の拡大

（３）経営目標（2029 年度【連結】）

売上高	100 億円（2025 年度実績　93.8 億円）
営業利益	6 億円（同　2.2 億円）
EBITDA	12 億円（同　8.9 億円）

詳細につきましては、添付資料「新中期経営計画「ニッチツ 2.0」」をご参照ください。

以　上



新中期経営計画

2026－2029年度

ニッチツ2.0

事業基盤を強化し、持続的な成長へ企業価値向上の実現



株式会社ニッチツ

2026年11月13日

目次

01 | 前中計「シン・ニッチツ2025」振り返りと環境変化
P3～P5

02 | 新中期経営計画「ニッチツ2.0」基本戦略
P6～P7

03 | 新中期経営計画「ニッチツ2.0」経営目標と財務戦略
P8～P10

当社の現状の姿

事業・部門別の構成と26/3期の売上高

26/3期 売上高
93.8億円

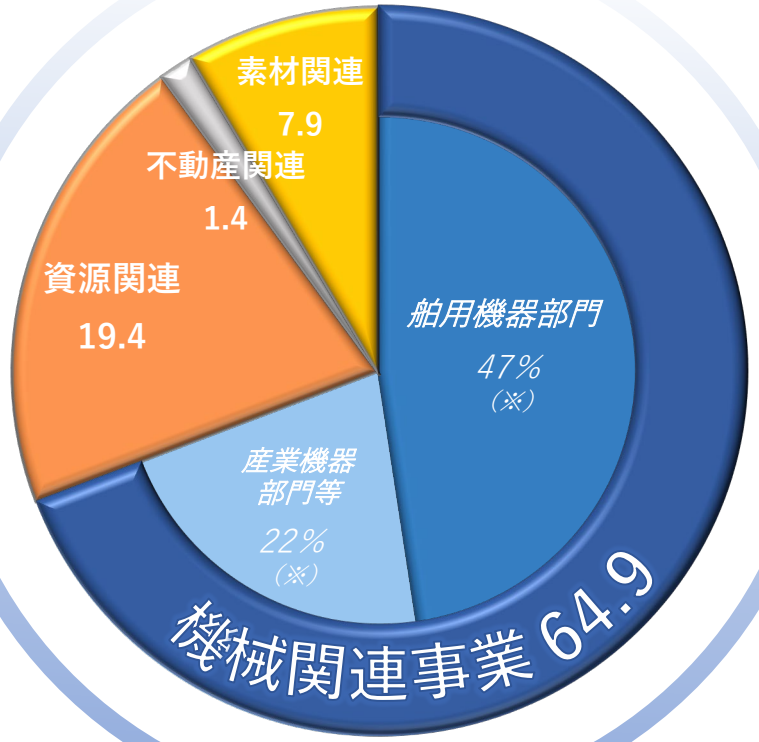
機械関連事業

・舶用機器（船殻ブロック・ハッチカバー）の製造
・一般産業機械の設計・製作
・プラント関連機器の製作、据付・施工・監理

素材関連事業

・耐熱塗料の製造・販売
・ライナテックス（高純度天然ゴム）の仕入・加工・販売

事業・部門別売上高（億円）



※構成比率は全体売上高比

資源関連事業

・ハイシリカ（精製珪石粉、半導体封止材・光学レンズ材料）の製造・仕入・販売

不動産関連事業

・オフィスビルの賃貸

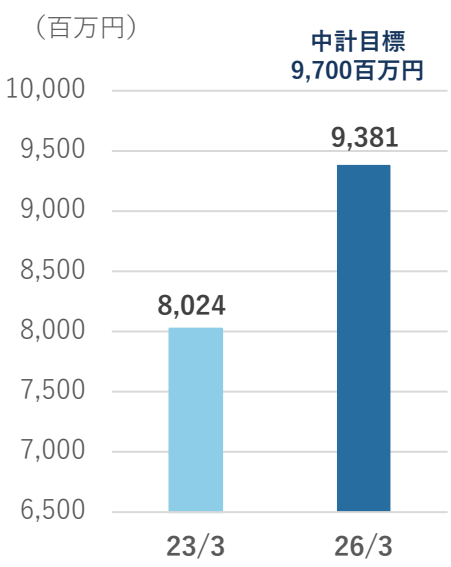
新中計に引き継ぐ課題及び環境変化 ①

前中計の実績を踏まえ、新中計で取り組む課題を整理

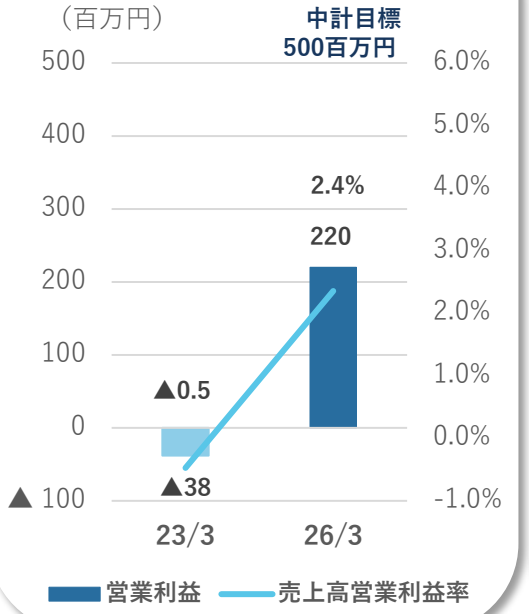
「シン・ニッチツ２０２５」実績

売上高・営業利益は目標未達ながら、黒字体質を確立。
EBITDAは飛躍的に拡大。
３年間の設備投資の規模は、中計開始前３年間の約３倍。

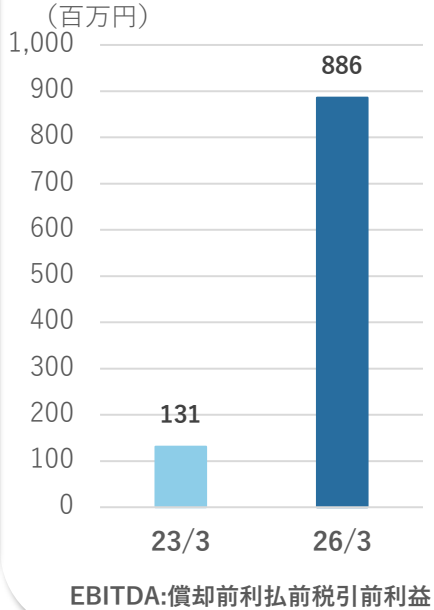
売上高



営業利益/営業利益率

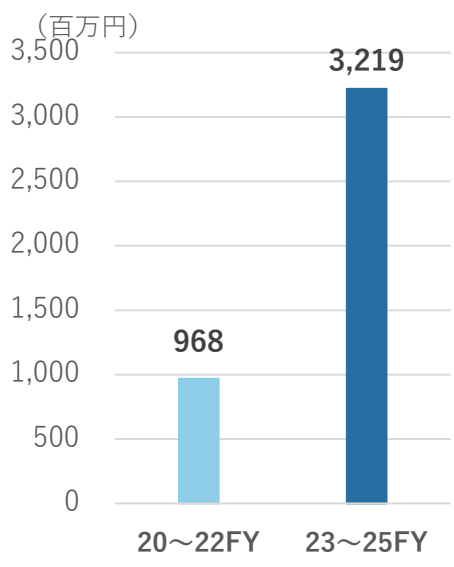


EBITDA



EBITDA:償却前利払前税引前利益

設備投資実績（完成ベース）



「シン・ニッチツ２０２５」から引き継ぐ主要課題

- 生産性・収益性の向上
- 事業継続・安全性（人財・技術基盤の維持）
- 事業領域の拡大

新中計に引き継ぐ課題及び環境変化 ②

国内造船業の再生、建造能力の拡大 —— 日本成長戦略分野「造船」

年間建造量の目標

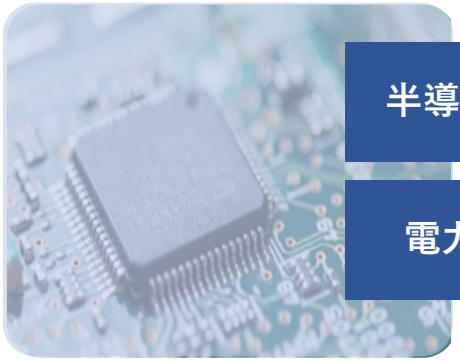
900万総トン（2024年） → 2倍 → 1,800万総トン（2035年目標）

官民投資 **1兆円超**（設備・人材・DX等）

造船各社（設備投資拡大） → 生産能力（建造量拡大） → 舶用機器市場（需要拡大）

舶用機器部門の事業機会拡大

ＡＩ普及・データセンター拡大にともなう半導体・電力需要の増大 —— 日本成長戦略分野「ＡＩ・半導体」



半導体	ＡＩ普及による半導体の需要増加 ＡＩ・半導体への官民投資を推進	→ 半導体関連材料・部材の需要拡大
電力	データセンター拡大に伴う 電力消費の増加	→ 電源確保・発電設備への投資需要の拡大

半導体・電力需要の増大

基本戦略 ①　舶用事業の増強

拡大する造船需要に応える新たな生産基盤づくり

松浦工場の規模拡張により生産体制を増強



拡大する造船需要を取り込む体制を構築

- 工場敷地の拡張
- 新工場の建設
- 生産設備の増強

生産能力の増強・生産ラインの整備

- ブロック工場の拡張による生産力拡大
- ハッチカバー生産ラインの増設
- 大型プレス機等主要設備の増強・更新

省人化・生産効率化

- ロボットによる溶接工程の自動化
- 自動設備導入、整備による構内物流の効率化
- レイアウトの最適化による
  加工から組立までのシームレスな生産

基本戦略 ②～④

基本戦略 ② 生産性・収益性の向上

- 近時導入した大型設備（型鋼切断ロボット、新型高性能ミル等）の稼働率向上
- 受注プロセス、工程管理プロセスの見直し
- DX・AI・ロボティクス（溶接ロボット導入等）の活用による生産・間接業務の効率化
- 部門間における人員配置の適正化

基本戦略 ③ ビジネスの持続可能性・安全性

- 人財確保・育成（外国人労働者の雇用継続、人財教育の充実等）
- 工場建屋屋上への太陽光発電設備導入による環境負荷の低減
- 坑廃水処理事業の安定性向上（電源、遠隔監視等）

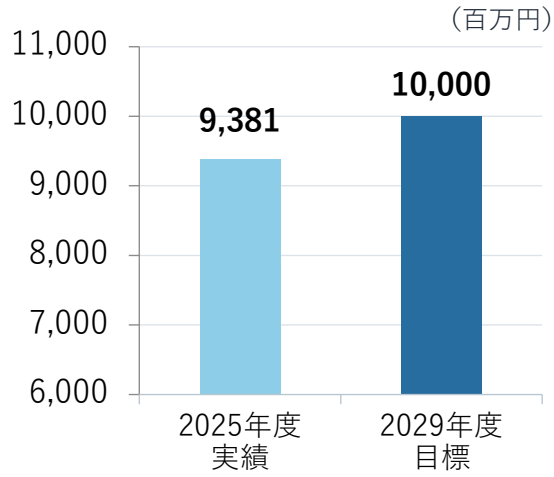
基本戦略 ④ ビジネス領域の拡大

- 電力関連需要の取り込み（洋上風力関連、発電設備工事等）
- 資源関連事業における受託加工ビジネスの拡大
- 海外生産、販売の拡大（資源関連事業・素材関連事業）
- M&A・業務提携を含む成長投資の検討

経営目標と戦略
中期経営計画期間の業績目標

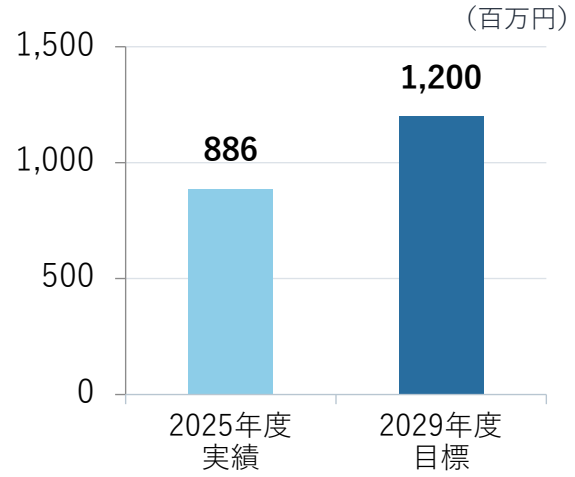
大型設備投資を継続しながら、投資効果の収益化を進め、持続的な成長に向けた事業基盤を強化

売上高



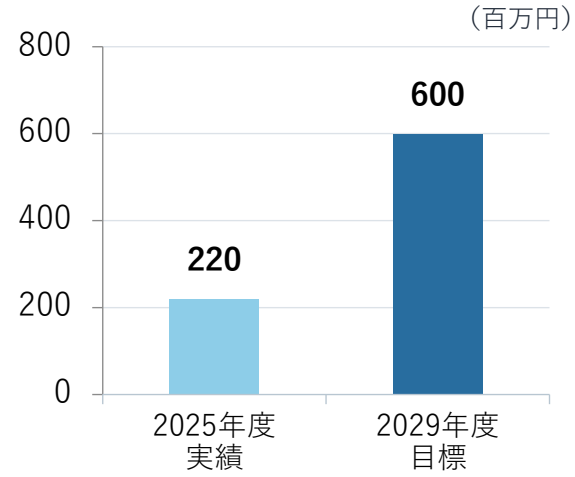
7％増
事業基盤の拡大

EBITDA



35％増
キャッシュ創出力の向上

営業利益



2.7倍
投資効果の収益化

継続して目指す経営水準

ROE（ROIC） 8％

収益力と資本効率の向上による
持続的な企業価値向上

財務戦略と資本政策

キャッシュ・フロー計画と株主還元方針（一部2030年度含む）

営業キャッシュ・フローと手元資金を活用し、
成長投資・事業基盤強化と安定的な株主還元を両立

キャッシュの源泉

営業キャッシュ・フロー

計画期間累計　45億円

＋

手元資金

（2026/9末　39億円）

キャッシュの使途

投資キャッシュ・フロー

舶用事業の増強（一部政府助成を見込む）	50億円
設備更新・安全への投資	25億円

株主還元

還元方針　総還元性向40％を目安に、中期的なFCFで判断

ニッチツグループの目指す姿

基盤強化から成長へ

ニッチツ2.0

NITCHITSU

2023-2025年度 基盤強化

積極投資・人財施策により
成長に向けた土台を整備

2026－2029年度 成長への移行

4つの基本戦略

1. 舶用事業の増強
2. 生産性・収益性の向上
3. ビジネスの持続可能性・安全性
4. ビジネス領域の拡大

2029年度計画

成長を形にする

売上高	営業利益	EBITDA
10,000 百万円	600 百万円	1,200 百万円

2030年度～ 目指す姿

新工場・設備の本格稼働

造船、半導体市場の
需要拡大に応え
新たな成長を生み出す

ROE 8.0％

造船　半導体

本資料に関してのご注意

本資料は、特定の商品・サービスの販売、提案、勧誘その他の営業活動を意図したものではなく、情報提供を目的としています。

なお、本資料は、金融商品取引法その他の関係法令及び東京証券取引所の規則等に基づく正式な開示資料または報告書ではありません。

また、本資料に記載されている将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果が予測と大きく異なる場合や、記載内容が予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは、
当社ＨＰ「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします
https://www.nitchitsu.co.jp/contact/

株式会社ニッチツ
NITCHITSU CO.,LTD.